

部 局 名	財政部
部 局 長 名	小林 修
部の運営方針	<ul style="list-style-type: none">・厳しい財政状況が続く中、持続可能な財政運営を図るため、中期財政計画を指針として、限られた財源を効率的・効果的に活用しながら、計画的な予算の編成と執行を進めます。・市の歳入の根幹をなす市税の確保に向け、税目ごとの的確な賦課・徴収を行い、自主財源の確保に努めます。市税の徴収では、滞納整理等の強化に向けた取り組みを進めます。また、個人市民税の特別徴収の推進に引き続き取り組むとともに、納付方法の拡充を図り徴収率の向上に努めます。市税以外の収入では、複数のポータルサイトを活用してふるさと納税を推進するとともに、寄附受入額の増加に繋がるよう魅力ある返礼品の企画・発掘に努めます。また、市民による他自治体へのふるさと納税額の増加に伴い、市税の減収額が拡大していることから、広報やホームページを通じて、減収の状況について広くお知らせしていきます。・令和 4 年 1 月から開始した課税（非課税）証明書のコンビニ交付については、更なる利便性向上を図るため、広く市民に周知していきます。・予算編成では、歳出において扶助費や公債費などの増加が見込まれるため、歳入に見合った歳出が基本であるとの認識のもと、行政評価等と連動させながら経常的経費の削減を図ります。・予算編成状況や決算状況、財務書類、財政白書、健全化判断比率等の公表など、市の財政状況について、広報やホームページなどを通じて市民にわかりやすくお知らせします。・ファシリティマネジメントを推進するため、令和 3 年度に改訂した公共施設等総合管理計画と、これまでに各所管部局において策定した個別施設計画を踏まえ、その基本方針に沿って施設の適正な管理を推進します。・施設保全台帳システム等を活用し、公有財産の有効活用と適正管理に努めます。・契約制度を適切に運用し、さらに契約の適正化に努めます。

部 局 名	財政部
部 局 長 名	中光 啓子
部の運営方針 に対する総合 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい財政状況が続く中、持続可能な財政運営を図るため、中期財政計画を指針として、限られた財源を効率的・効果的に活用しながら、計画的な予算の編成と執行を進めました。 ・市の歳入の根幹をなす市税の確保に向け、税目ごとに的確な賦課・徴収を行い、自主財源の確保に努めました。市税の徴収では、滞納整理等の強化に向けた取り組みを進めました。また、個人市民税の特別徴収の推進に引き続き取り組むとともに、納付方法の拡充を図り徴収率の向上に努めました。市税以外の収入では、複数のポータルサイトを活用してふるさと納税を推進するとともに、寄附受入額の増加に繋がるよう魅力ある返礼品を新たに発掘しました。また、市民による他自治体へのふるさと納税額の増加に伴い、市税の減収額が拡大していることから、広報やホームページを通じて、減収の状況について広くお知らせをしました。 ・令和4年1月から開始した課税（非課税）証明書のコンビニ交付については、更なる利便性向上を図るため、HP等で広く市民に周知しました。 ・予算編成では、歳出において扶助費や公債費などの増加が見込まれるため、歳入に見合った歳出が基本であるとの認識のもと、行政評価等と連動させながら経常的経費の削減を図りました。 ・予算編成状況や決算状況、財務書類、財政白書、健全化判断比率等の公表など、市の財政状況について、広報やホームページなどを通じて市民にわかりやすくお知らせしました。 ・ファシリティマネジメントを推進するため、令和3年度に改訂した公共施設等総合管理計画と、これまでに各所管部局において策定した個別施設計画を踏まえ、その基本方針に沿って施設の適正な管理を推進しました。 ・施設保全台帳システム等を活用し、公有財産の有効活用と適正管理に努めました。 ・契約制度を適切に運用し、契約の適正化に努めました。

令和4年度 課の目標管理書

課名： 財政部 財政課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・財政運営の健全性を確保するための指針となる中期財政計画では、地方税制や社会保障制度の改正、景気動向に伴って変動する税収等の財源を的確に捉えていきます。また、第1期実施計画に位置付けた事業を進めるための財源を確保するとともに、新たに発生する財政需要に対応できるよう適切な見直しを行っていきます。
- ・予算編成を通して事務事業の更なる徹底的な見直しを行います。また、行政評価や事業仕分けの結果を踏まえながら、経常的経費の節減に取り組むとともに、投資的経費の重点的・効果的な配分を行い、より効率的な財政運営を進めます。さらに、引き続き国・県支出金に関する情報収集に努め、積極的な活用を図ります。
- ・ふるさと納税については、複数のポータルサイトを活用しながら、我孫子を応援してくれる納税者を増やし、歳入の増加につなげていきます。また、寄附者へのお礼として我孫子の特産品を活用し、広くPRしていきます。さらに、寄附金の使途を明確にするとともに、市民が行う他自治体へのふるさと納税による市税の減収額について、広報やホームページで周知していきます。
- ・市の財政状況や予算編成状況については、より深く理解していただくために、広報・ホームページ・出前講座を活用します。
- ・複式簿記を前提とした統一的な基準による財務書類等については、関係課（会計課、資産管理課）との調整を図りながら作成し、予算編成等での活用方法について検討していきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組みを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
課の目標で示した事項については全取組みを実施できたものの、今後も厳しい財政状況が見込まれるため、引き続き歳入確保・効率的な財政運営に努めます。	今後も高齢化の進行等を要因とした扶助費の増加等が見込まれる中で、歳入確保・効率的な財政運営は必要不可欠なものとなるため、引き続き課の目標で示した事項について取組みを進めていきます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれる中で、適切な財政規律の下での地方債の活用やふるさと納税寄附金を募ること等による歳入確保、効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	健全で安定した財政運営
	担当部署名	財政部 財政課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた財源を効率的・効果的に活用するため、当初予算編成にあたっては、社会情勢の変化に対応した経常的経費の適切な配分と、事業の必要性や優先度を踏まえた政策的経費の計画的な選択を進めます。 ・当初予算編成後には中期財政計画の見直しを行い、中期的な財政見通しに基づく計画的な財政運営を進めます。 ・決算後はその状況を財政白書等にまとめ、わかりやすい内容で提供するとともに、国の定める統一的な基準による財務書類を作成し、財政運営に活用します。 	
関連する市の計画等	中期財政計画、第4次総合計画第1期実施計画、予算編成方針、予算要求基準	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	決算事務	
	債務負担行為支払事務	
	財政事務	
	統一的な基準による財務書類の作成	
	補助金事務	
	予算編成	
	財政情報の提供	
	中期財政計画の見直し	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業	財務会計システム整備 R3～R9年度 167,359千円、財務会計システム継続使用及びデータ移行等業務委託 R4～R4年度 4,801千円、財務会計システム保守業務委託 R4～R8年度 23,364千円	

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	人件費 (人)	会計年度任用職員 (人)	人件費 (人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	166,679	56,115	6.00	0	0.00	222,794	0	0	0	0	222,794
令和3年度	決算見込額	240,897	56,515	6.00	0	0.00	297,412	0	0	0	0	297,412
令和4年度	当初予算額	182,727	57,243	6.65	116	0.07	240,086	0	0	0	0	240,086
	補正後予算額	334,505	57,243	6.65	116	0.07	391,864	0	0	0	0	391,864
	決算額	326,390	52,690	6.07	102	0.07	379,182	0	0	0	0	379,182

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	標準財政規模に対する財政調整基金 残高の割合	%	目標値	10	10	10	10	10
	実績値	12.6	16.6					
成果 指標	中期財政計画における計画2・3年度の経常収 支の平均	百万円	目標値	10	10	10	10	10
	実績値	▲130	▲231					
指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	普通交付税の追加交付があったこと等により歳入が当初の見込みを上回り、余剰金を財政調整基金に積み立てることができたため、実績値が目標目標値よりも高くなりました。
成果に対する評価	順調とはいえない	中期財政計画における経常収支の平均は、高齢化の進行に伴う扶助費の増加等を要因として悪化傾向となりました。
総合的な評価	ほぼ順調	財政調整基金残高は一定程度を確保できているものの、今後高齢化の進行に伴い経常的歳出の増加も見込まれるため、引き続き財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努めます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	高齢化の進行等に伴い、今後も経常的歳出の増加が見込まれるため、持続可能な行財政運営を行うためには、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努めることが今後も必要となるため、現状通り取組みを推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	財源の確保
	担当部署名	財政部 財政課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。
事務事業の目的・概要	<p>・ 持続可能な財政運営と世代間の公平性を保つため、基金や返済時に交付税措置のある地方債を有効に活用するほか、国・県の補助金の活用を考慮した事業の組み立てやふるさと納税制度による寄附金の受け入れなど、さまざまな手法による歳入の確保に努めます。</p> <p>・ 国と地方間の税財源の配分の適正化などを国に働き掛けるほか、市のサービス提供に対する使用料・手数料などについて、定期的に見直します。</p>	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指： 指定事務事業	指 ふるさと納税返礼品	
	基金の管理事務	
	起債事務	
	交付税事務	
	受益者負担の見直し	
	指 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の調整・進捗管理	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	3,532,845	15,660	2.00	0	0.00	3,548,505	0	0	0	45,059	3,503,446
令和3年度	決算見込額	4,860,019	16,465	2.00	0	0.00	4,876,484	0	0	0	34,220	4,842,264
令和4年度	当初予算額	3,222,257	21,670	2.60	0	0.00	3,243,927	0	0	0	36,007	3,207,920
	補正後予算額	3,215,054	21,670	2.60	0	0.00	3,236,724	0	0	0	36,007	3,200,717
	決算額	3,205,758	19,708	2.35	0	0.00	3,225,466	0	0	0	28,118	3,197,348

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	臨時財政対策債等と大規模事業に係る市債を除いた新規市債の実発行額	億円		目標値	12.8	12	11.2	12.4	12.6
				実績値	11.1	14.4			
成果 指標	ふるさと納税寄附金額	千円		目標値	36,000	34,000	35,000	36,000	39,000
				実績値	32,603	41,258			
指標				目標値					
				実績値					
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
				目標値					
				実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	交付税措置のある地方債を最大限活用し事業の財源としましたが、目標値を若干上回る結果となりました。今後も適切な財政規律の下で、行財政運営を行っています。
成果に対する評価	順調	多くの寄附金を募るため、ふるさと納税返礼品の数を増やす取組みなどを行ったこともあり、目標値を上回る寄附を募ることができました。
総合的な評価	ほぼ順調	ふるさと納税寄附金受入額の増加や適切な財政規律に基づく新規地方債の発行は、効率的な財政運営を行うにあたり必要不可欠なものであり、引き続き、目標達成に努めています。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	適切な財政規律の下での新規地方債の発行は、世代間負担の公平性の担保や計画的な財政運営のために必要不可欠なものであり、ふるさと納税寄附金についても、歳入確保の観点から重要なものであることから、現状通り取組みを推進します。

令和4年度
課の目標管理書

課名： 財政部 収税課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○自主財源である市税を確保するため、滞納整理を強化するとともに、徴収率の向上に努めます。
○公金徴収一元化を行うことで、所管課と連携し、より効率的、効果的な徴収に取り組みます。
○電子収納や手続きの拡充を図り、納税者の利便性の向上に努めます。

- ・滞納処分を前提とした財産調査の実施
- ・相続財産管理人制度による債権の回収
- ・回収不可能な債権の見極めによる執行停止の強化
- ・休日納税相談の開催
- ・所管課からの移管を受けた移管滞納者に対し、滞納処分を効率的に実施
- ・多様な納付方法の周知

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
従来の納税方法に加え、新たにクレジットカードや銀行の口座から直接納付が出来るアプリを導入し納税者の利便性の向上を図ることが出来ました。また、滞納者の財産調査及び生活実態の把握を積極的に行ったことにより徴収率の向上に寄与しました。	自主財源である市税を確保するため、納税方法の拡充や滞納者への徹底した財産調査と生活実態の把握を行う等、滞納整理を推進した結果、徴収率の向上が図れました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

休日納税相談については、毎年7月に2回、12月に2回の年4回行っていますが、多様な納税方法の拡充を行っていることや、相談者が対面を避ける傾向があり相談者数が減少しているため費用対効果を勘案し今後は年2回（12月のみ）とします。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	効率的な市税の収納		
	担当部署名	財政部 収税課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的・概要	多様な支払い方法を取入れ、納税者の利便性向上を図るとともに、滞納処分を実施し、収納率の向上を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市税の収納			
	市税の滞納整理			
	公金徴収の一元化の実施			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	クレジット収納業務委託 R.3～R.4年度 3,599千円			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	60,933	95,700	11.00	6,250	3.00	162,883	0	10,136	0	0	152,747
令和3年度	決算見込額	84,072	97,900	11.00	8,394	3.00	190,366	6,050	10,243	0	0	174,073
令和4年度	当初予算額	77,133	88,640	11.20	8,458	3.10	174,231	0	10,179	0	0	164,052
	補正後予算額	94,614	88,640	11.20	11,089	3.90	194,343	0	10,179	0	0	184,164
	決算額	80,274	77,148	9.74	10,420	3.90	167,842	0	10,894	0	0	156,948

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	広報やHP等の媒体で多様な納付方法の周知	回	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	10			
活動 指標	休日納税相談（徴収率向上の為）の開催	日	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	2	4		
活動 指標	所管課からの移管滞納者の滞納処分	件	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	47	52		
成果 指標	市税の徴収率	%	目標値	99	99.1	99.2	99.2	99.3
				実績値	99.04	98.95		
成果 指標	滞納繰越分徴収率（徴収税額÷調定額）	%	目標値	33.38	33.39	33.4	33.4	33.5
				実績値	35.95	32.86		
			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	収納チャネルの拡充及び各費目の滞納整理に努力した。
成果に対する評価	ほぼ順調	収納率については、コロナ前の水準を確保することができた。
総合的な評価	ほぼ順調	納税の利便性を及び徴収率の向上を目指し新たにクレジット決済を導入した。また、市税全体の徴収率としてコロナ前の水準を確保することができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	自主財源である市税の適正な収納管理を行うため、今後も現状のとおり推進していくとともに納税環境の整備を行っていく。

令和4年度
課の目標管理書

課名： 財政部 資産管理課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

公有財産の有効活用と適正管理

- ・普通財産（土地）の売却や有効活用を検討します。
- ・施設保全台帳システム等を活用し、適正な財産管理に努めます。
- ・新たな広告収入の調査・研究を行います。
- ・市有建築物の工事にあたり、所管部署と連携を図りながら、建築物に求められる機能・性能を確保できるような適切な工事設計と工事監督業務を実施します。
- ・ファシリティマネジメントを推進するため、令和3年度に改訂した公共施設等総合管理計画と、これまでに各所管部局において策定した個別施設計画を踏まえ、その基本方針に沿って施設の適正な管理を推進します。
- ・契約制度を適切に運用し、契約の適正化に努めます。公契約条例の運用については、公契約審議会での議論を十分反映し、厳格に運用していきます。

2. 課の目標への取組結果

公有財産の有効活用と適正管理

- ・普通財産（土地）の一部について、令和5年度の売却に向けた調整を行いました。
- ・施設保全台帳システム等を活用し、適切な財産管理を行いました。
- ・市有建築物の工事にあたり、所管部署と連携を図りながら、建築物に求められる機能・性能を確保できるような適切な工事設計と工事監督業務を実施しました。
- ・各施設における在り方や整備手法等について、公共施設等総合管理計画と個別施設計画を踏まえた検討を行うことで、施設の適正な管理を推進しました。
- ・契約制度を適切に運用し、入札及び随意契約を適正に行いました。また、令和4年10月13日に公契約審議会を開催し、公契約条例の厳格な運用に向けて議論を行いました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
掲げた目標については、すべて取り組むことができました。引き続き、施設の保全業務をはじめ、公有財産の有効活用と適正管理に努めます。	財政状況が年々厳しくなっていく状況に対応するため、効率的・効果的な施設管理、公有財産の更なる有効活用に向けて、引き続き課の目標で掲げた事業に取り組んでいきます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後、公共施設の老朽化が一層進むことは確実であり、それらの課題に対応するための人員が不足しています。技師の増員等、体制の拡充が必要です。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	公共施設設備の管理運営	
	担当部署名	財政部 資産管理課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率のかつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的・概要	庁舎の老朽化対策として、長寿命化に向けた必要な工事や修繕を実施し、施設等の計画的な予防保全を行います。 来庁者や職員が庁舎を安全かつ快適に使用できるよう環境整備を行います。 市有地等の公有財産の適正な維持管理を行います。 市有建築物の工事監督に携わり、契約の適正な履行を確保するとともに、建築物の機能、形態及び工事費等設計段階で指導し、市有建築物として質の高い設計を完成させます。 公共施設を包括管理することにより、経費削減と事務の効率化を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市公共施設等総合管理計画、我孫子市役所庁舎整備計画（個別施設計画）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 庁舎の老朽化対策		
	庁舎維持管理		
	財産管理		
	市有建築物の設計指導・工事監督		
	公共施設等包括管理業務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	低炭素設備貸借（パルクリース） R元～R10年度 298,107千円、I P電話システム及び関連機器貸借 R2～R6年度 31,480千円、公共施設等包括管理業務委託 R3～R7年度 556,455千円、庁舎総合管理業務委託 R3～R8年度 312,275千円、手指アルコール消毒液購入 R3～R4年度 16,929千円		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	330,614	49,590	5.70	0	0.00	380,204	15,767	0	600	1,000	362,837
令和3年度	決算見込額	368,345	51,620	5.80	0	0.00	419,965	14,022	0	36,800	46,517	322,626
令和4年度	当初予算額	561,593	51,568	5.95	0	0.00	613,161	16,929	0	162,300	100,452	333,480
	補正後予算額	563,693	51,568	5.95	0	0.00	615,261	16,929	0	162,300	100,452	335,580
	決算額	548,593	51,568	5.95	0	0.00	600,161	8,840	0	153,600	123,236	314,485

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	庁舎施設等の工事の完了件数	件	目標値	3	6	6	7	7
				実績値				
成果指標	庁舎施設等の工事の適正な完了率	%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値				
指標			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	庁舎施設等の老朽化対策として、長寿命化に向けた必要な工事や修繕を実施し、遅滞なく完了させることができました。
成果に対する評価	順調	庁舎施設等の維持に必要な工事や修繕を計画通り実施することで、長期的な保全に繋がりました。
総合的な評価	順調	標準耐用年数までの使用、また、安全かつ快適に使用できるよう、庁舎施設等の工事や修繕を計画通り実施できました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	庁舎の老朽化対策として、長寿命化に向けた必要な工事や修繕を持続し、計画的な予防保全を行ってまいります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ファシリティマネジメントの推進	
	担当部署名	財政部 資産管理課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的・概要	老朽化が進む公共施設を、財政負担の平準化を図りながら適正に維持管理していくため、長寿化につながる保全や更新を計画的に実施するとともに、人口の推移や市民ニーズの変化に合わせて、複合化や集約化など、公共施設の最適な配置について検討します。		
関連する市の計画等	我孫子市公共施設等総合管理計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	我孫子市公共施設等総合管理計画の進行管理		
	個別施設計画の全体進行管理		
	公共施設等の老朽化対策に係る総合調整		
	公共施設等の適正な配置・管理に係る総合調整及び庁内啓発		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	12	15,660	1.80	0	0.00	15,672	0	0	0	0	15,672
令和3年度	決算見込額	163	8,900	1.00	0	0.00	9,063	0	0	0	0	9,063
令和4年度	当初予算額	47	10,288	1.15	0	0.00	10,335	0	0	0	0	10,335
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	25	10,288	1.15	0	0.00	10,313	0	0	0	0	10,313

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	公共施設等の老朽化対策に係る事業の調整率	%	目標値	100	100	100	100	100	
				実績値	100				
活動 指標	ファシリティマネジメントに係る庁内啓発の実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1	
				実績値	1				
活動 指標	個別施設計画の進行管理手法検討の進捗率	%	目標値	0	100				
				実績値	0	100			
指標			目標値						
				実績値					
					目標値				
					実績値				
指標			目標値						
				実績値					
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	予算要求時をはじめ、年間を通じて施設整備関連事業の全庁的な調整事務を遅滞なく実施しました。個別施設計画の進行管理については、新たなローコードツールを活用していくこととしました。
成果に対する評価	順調	調整事務や庁内啓発を実施することで、施設所管課職員の意識醸成に繋がりました。
総合的な評価	順調	施設の適正な維持管理や個別施設計画に位置付けた取り組みを着実に実行しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	人口減少や厳しい財政状況が続く状況下においても、公共施設等の持続可能な運営を目指す上では、公共施設等全体の適正な管理を推進していく必要があります。